

毎年更新！ 総勢239名が参加

見守りネットワーク事業

「住民支え合いマップづくり・個別避難計画作成」

11月19日長岡・山子田地区、20日広馬場地区、21日新井地区が役場庁舎内会議室において、自治会長はじめ各区役員、民生児童委員、ささえあい協議体、榛東駐在所、消防団、防災ボランティア、学校関係者、JA榛東職員が参加し、**災害時や日常の非常時に支援を必要とする方・世帯(避難行動要支援者)**を地域全体で見守るネットワークを構築するため「住民支え合いマップづくりと個別避難計画作成」を開催しました。



避難行動要支援者の状況や地域の情報を地域支援者同士で出し合い共有し、マップの作成及び避難支援が必要な方の個別避難計画を作成していただきました。

今回、マップづくり開始以降初めて、当事者(避難行動要支援者)家族が参加し「マップや個別避難計画がどのように作成されているのか具体的な取り組みを知ることができ、支援が必要な方の情報を把握していることは安心だと感じた。また、皆さんに子どもの状態を伝えることができ、必要な支援を一緒に考えることができてよかった。当事者家族が参加することでより具体的な避難計画が作成できると思った。」と貴重な感想をいただきました。



- ①マップづくりは、行政区地図のハザードマップを確認し要支援者宅(一人暮らし、高齢者世帯・障がい児者等)、支援者宅と危険箇所や除雪優先歩道を色分けし参加者で共有。
- ②避難行動要支援者名簿は、本人や家族に同意を得た方を対象に迅速な避難行動ができるよう身体の状態等に合わせて細分化し記載(身体状態区分 S・A・B・C)。
- ③個別避難計画の作成は、避難行動要支援者名簿の方を対象に災害時に誰が支援するか、どこに避難するかなど、あらかじめ記載した計画。